

第 10 回 四国地区社会福祉士合同研修会 ソーシャルワークフォーラムとくしま 2019 開催要綱

- 1 テーマ 「地域共生社会の実現を目指して」
- 2 目的 2016年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」で「地域共生社会」の実現が掲げられた。2017年2月に厚生労働省は「地域共生社会実現本部」を設置し、『「地域共生社会」の実現に向けて』を発表した。その政策では高齢・障がい・児童・生活困窮・「我が事・丸ごと」の地域づくり等、全世代対応型の地域包括ケアシステムを構築するにあたっては、様々な領域を包括するソーシャルワーク専門職である社会福祉士の実践能力や役割が期待されている。「地域共生社会」の実現のポイントとされるソーシャルワーク機能の強化を図るべく、「地域共生社会の実現を目指して」をテーマとした「第10回四国地区社会福祉士合同研修会/ソーシャルワークフォーラムとくしま 2019」を開催する。
- 3 主催 一般社団法人 徳島県社会福祉士会、一般社団法人 愛媛県社会福祉士会
公益社団法人 香川県社会福祉士会、一般社団法人 高知県社会福祉士会
大会長 和泉 芳枝（一般社団法人 徳島県社会福祉士会会長）
- 4 後援（予定・順不同）
徳島県、徳島市、徳島県社会福祉協議会、徳島市社会福祉協議会、徳島県医師会、徳島市医師会、徳島県歯科医師会、徳島県薬剤師会、徳島県看護協会、徳島県理学療法士会、徳島県作業療法士会、徳島県言語聴覚士会、徳島県市町村社会福祉協議会職員連絡会、徳島県社会福祉法人経営者協議会、徳島県老人福祉施設協議会、徳島県知的障害者福祉協会、徳島県児童養護施設協議会、徳島県地域包括ケアシステム学会、徳島県医療ソーシャルワーカー協会、徳島県精神保健福祉士協会、徳島県介護支援専門員協会、徳島県スクールソーシャルワーカー協会、徳島大学歯学部、徳島文理大学、専門学校健祥会学園、専門学校穴吹福祉医療カレッジ、徳島新聞社、四国放送、NHK徳島放送局、エフエム徳島、エフエムびざん
- 5 日時 2019年11月9日（土） 9:30-17:00
2019年11月10日（日） 9:00-12:00
- 6 会場 徳島県立総合福祉センター（徳島市昭和町1丁目2番地）
- 7 対象 社会福祉士会会員、一般、福祉関係者、学生、養成校教員 etc

8 参加費

参加区分	ワークショップのみ	事前登録費 10/31迄	当日参加費 11/1以降
会員	2,000円	3,000円	4,000円
一般	2,000円	5,000円	6,000円
学生	500円		

※公開講座：無料（公開講座のみの参加可能です）

9 プログラム

1日目：11月9日（土）

時間	内容																					
9:00～ 9:30	受付																					
9:30～12:30	【ワークショップ】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO</th> <th>プログラム</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WS1</td> <td>児童虐待への支援を考える〈Part2〉 ～チーム学校・SSWの役割～</td> <td>江口 久美子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授） 森泉 摩州子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授）</td> </tr> <tr> <td>WS2</td> <td>支援力を高めるアドラー心理学の学び方 ～勇気と技術のある支援者を目指して～</td> <td>梅崎 一郎氏 （徳島県発達障がい者総合支援 センターアイリス）</td> </tr> <tr> <td>WS3</td> <td>福祉実践に向けた行動分析学の基礎</td> <td>藤田 よしのぶ氏 （社会と災害文化研究所理事）</td> </tr> <tr> <td>WS4</td> <td>レジデンシャル・ソーシャルワークを学ぼう</td> <td>中山 裕章氏 （養護老人ホーム松寿園）</td> </tr> <tr> <td>WS5</td> <td>自己覚知からはじまるコミュニケーション スキル</td> <td>湯浅 雅志氏 （那賀町地域包括支援センター）</td> </tr> <tr> <td>WS6</td> <td>明日から使える若手のソリューション ※35歳以下の若手、学生限定</td> <td>今川 聡士氏 （阿南北部第1高齢者お世話セ ンター）</td> </tr> </tbody> </table>	NO	プログラム	講師	WS1	児童虐待への支援を考える〈Part2〉 ～チーム学校・SSWの役割～	江口 久美子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授） 森泉 摩州子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授）	WS2	支援力を高めるアドラー心理学の学び方 ～勇気と技術のある支援者を目指して～	梅崎 一郎氏 （徳島県発達障がい者総合支援 センターアイリス）	WS3	福祉実践に向けた行動分析学の基礎	藤田 よしのぶ氏 （社会と災害文化研究所理事）	WS4	レジデンシャル・ソーシャルワークを学ぼう	中山 裕章氏 （養護老人ホーム松寿園）	WS5	自己覚知からはじまるコミュニケーション スキル	湯浅 雅志氏 （那賀町地域包括支援センター）	WS6	明日から使える若手のソリューション ※35歳以下の若手、学生限定	今川 聡士氏 （阿南北部第1高齢者お世話セ ンター）
	NO	プログラム	講師																			
	WS1	児童虐待への支援を考える〈Part2〉 ～チーム学校・SSWの役割～	江口 久美子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授） 森泉 摩州子氏 （徳島文理大学保健福祉学部 人間福祉学科教授）																			
	WS2	支援力を高めるアドラー心理学の学び方 ～勇気と技術のある支援者を目指して～	梅崎 一郎氏 （徳島県発達障がい者総合支援 センターアイリス）																			
	WS3	福祉実践に向けた行動分析学の基礎	藤田 よしのぶ氏 （社会と災害文化研究所理事）																			
	WS4	レジデンシャル・ソーシャルワークを学ぼう	中山 裕章氏 （養護老人ホーム松寿園）																			
	WS5	自己覚知からはじまるコミュニケーション スキル	湯浅 雅志氏 （那賀町地域包括支援センター）																			
WS6	明日から使える若手のソリューション ※35歳以下の若手、学生限定	今川 聡士氏 （阿南北部第1高齢者お世話セ ンター）																				
12:45～13:45	【ランチセッション】独立型社会福祉士ソーシャルワーク実践セミナー 演題「”権利擁護はソーシャルワークか？” “ソーシャルワークだと思う（多分ね）” 演者：橋本 正士氏（ケアサークルまんまる）																					
13:55～14:00	【開会・オリエンテーション】 実行委員長挨拶：秋月 卓実（徳島県社会福祉士会理事）																					
14:00～15:30	【基調講演／公開講座（全体会）】 演題「ソーシャルワーク、をする」 講師：立岩 真也氏（立命館大学大学院先端総合学術研究科教授）																					
15:40～15:45	大会長挨拶：和泉 芳枝（徳島県社会福祉士会会長）																					
15:45～16:40	【大会特別企画（全体会）】認定社会福祉士ソーシャルワーク鼎談 テーマ「地域共生社会のソーシャルワーク“認定社会福祉士”の実践力とは？」 コーディネーター： <徳島県：高齢分野> 関本 睦氏（四国大学短期大学部人間健康科介護福祉専攻） 鼎談者： <愛媛県：障害分野> 山本 智弘氏（救護施設丸山荘） <香川県：児童・家庭分野> 藤澤 茜氏（香川県教育委員会） <高知県：医療分野> 谷 峰穂氏（小豆島中央病院）																					
16:40～16:50	全国大会（高知県）インフォメーション：高知県社会福祉士会会長 徳弘 博国氏 日本社会福祉士会コメント：日本社会福祉士会理事 島崎 義弘氏																					
	1日目終了、交流会会場へ移動																					
18:00～20:00	交流会（希望者のみ） 会場：Bar&Cafe 炭火焼 ドン・ガバチョ																					

2日目：11月10日（日）

時間	内容			
8:30～ 9:00	受付			
9:00～9:50	【特別講演（分科会）】			
	分科会名	演 題	講師	
	第1分科会 権利擁護	子どもの権利条約と子どもの権利 擁護	岩城 由幸氏（大阪府障害者福祉事業 団理事兼指導監査室長）	
	第2分科会 地域支援	SDGs から地域共生社会を紐解く -コミュニティ・デザインの重要性-	白山 靖彦氏（徳島大学大学院医歯薬 学研究部教授）	
第3分科会 福祉経営	福祉事業の経営とマーケティング 戦略	藤井 幹雄氏（藤井会計事務所）		
9:50～12:00	【実践報告（分科会）】			
	分科会名	分科会の主旨	発表県	発表者
	第1分科会 権利擁護	子どもの権利擁護にお けるソーシャルワーカー の必要性について	徳島県	漆原文子氏<主発表者>他（徳島県社会福祉士 会）
			高知県 香川県	井上紗織氏（高知県中央児童相談所） 高木千晶氏（丸亀市教育委員会）
	座 長：多田祐（四国大学福祉会） 助言者：岩城由幸氏（大阪府障害者福祉事業団理事兼指導監査室長）			
	第2分科会 地域支援	地域共生社会の実現に 向けた社会福祉士の役 割について	高知県	田岡 優氏（本山育成会 障がい者支援施設 しゃくなげ荘）
徳島県 愛媛県			住友妃華氏（神山町地域包括支援センター） 藤村高弘氏（味酒野ていれぎ荘）	
座 長：湯浅雅志（那賀町地域包括支援センター） 助言者：白山靖彦氏（徳島大学大学院医歯薬学研究部教授）				
第3分科会 福祉経営	独立型社会福祉士の 福祉実践と福祉経営	香川県 愛媛県 徳島県	三瀬 誠氏（三瀬社会福祉士事務所） 池井恭久氏（こもれび社会福祉士事務所） 和泉芳枝氏（(有)いずみソーシャルサポート）	
		座 長：秋月卓実（居宅介護支援事業所ほっとピース） 助言者：藤井幹雄氏（藤井会計事務所）		
2日目終了				

基調講演/公開講座 講師

立岩真也氏のプロフィール

1960年、佐渡島生。専攻は社会学。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。千葉大学、信州大学医療技術短期大学部を経て現在立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。単著として『私的所有論』（勁草書房、1997、第2版生活書院、2013）、『弱くある自由へ——自己決定・介護・生死の技術』（青土社、2000）、『自由の平等——簡単で別な姿の世界』（岩波書店、2004）、『ALS——不動の身体と息する機械』（医学書院、2004）、『希望について』（青土社、2006）『良い死』（筑摩書房、2008）、『唯の生』（筑摩書房、2009）、『人間の条件——そんなものない』（イースト・プレス、2010、第2版新曜社、2018）、『造反有理——精神医療現代史へ』（青土社、2013）、『自閉症連続体の時代』（みすず書房、2014）、『精神病院体制の終わり——認知症の時代に』（青土社、2015）、『生死の語り行い・2』（Kyoto Books、2017）、『不如意の身体——病障害とある社会』（青土社、2018）、『病者障害者の戦後——生政治史点描』（青土社、2018）



10 参加申込み

① 申込方法

大会専用ウェブサイトからのお申込み、もしくは別紙参加申込書に必要事項を記入の上 FAX にてお申込み下さい。メールにて申込みされる方は、参加申込書の事項を記入して下さい。

② 申込締切

2019年10月31日(木) 必着

10 支払い方法 支払方法は銀行振込にてお願い致します。

①振込先：徳島銀行 本店営業部(普) 8613606

②口座名義：一般社団法人徳島県社会福祉士会 代表理事 和泉芳枝

11 昼食 ①各自でご準備ください。

②ランチセッション参加者はお弁当として別途600円(事前振込)お願いします。

③眉山園・社会就労センターかもな(パン・ヴィ・ザン)がパンを販売しますのでご利用ください。売り切れ次第終了となりますので予めご了承ください。

12 交流会

県士会会員、四国土会会員ならびに福祉関係者が一堂に集まる機会です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

① 日 時：2019年11月9日(土) 18:00~20:00

② 会 場：Bar&Cafe 炭火焼 ドン・ガバチヨ
徳島市元町 1-5-1 ホテルサンルート (088-653-7888)
徳島駅前徒歩 1 分

③ 定 員：40名(先着申込み)

④ 会 費：5,000円(事前振込)

⑤ 申込み：お申込みは、10月31日(木)までに大会専用ウェブサイトからのお申込み、もしくは別紙参加申込み用紙に必要事項を記入の上 FAX 又はメールにてお申込み下さい。メールにて申込みされる方は、参加申込書の事項を記入して下さい。

13 その他

① 参加に関して頂戴した皆様の個人情報、大会事務局が責任を持って管理し大会遂行業務以外では使用いたしません

② 宿泊につきましては、お手数ですが各自で手配・ご予約をお願いいたします。

③ 会場での駐車台数には限りがございますので、できるだけお車に乗り合わせの上お越しいただくか公共交通機関をご利用くださいますよう、ご協力お願いします。

14 お問い合わせ先

ソーシャルワークフォーラムとくしま実行委員会(徳島県社会福祉士会内)
〒770-0943 徳島市中昭和町 1 丁目 2 徳島県立総合福祉センター3F
TEL:088-678-8041 FAX:088-678-8042 e-mail:swft2019@tacsw.jp

大会特別企画：認定社会福祉士ソーシャルワーク鼎談

① 主旨・目的

複数の課題のある困難ケースの対応や緊急対応、苦情対応ができる、また多職種連携や地域づくりのコーディネートができる実践力を認定された「認定社会福祉士」によるソーシャルワーク鼎談をとおして「地域共生社会の実現に向けて求められる『認定社会福祉士』の実践力や専門性」について考える機会とする。

② 鼎談テーマ

「地域共生社会のソーシャルワークと『認定社会福祉士』の実践力とは？」

第1分科会 「権利擁護」

～子どもの権利擁護におけるソーシャルワーカーの必要性について～

① 主旨・目的

2000年に児童虐待防止法が制定されたが、連日のように深刻な児童虐待の事件が報道されるなど虐待事例は減少せずに死亡事例も減っていない。社会問題として注目され、子どもの権利擁護や虐待防止に向けた動きも急速に進みはじめている。社会福祉士は福祉・医療・保健・教育・司法・行政の各領域で子どもの権利擁護に向けたソーシャルワーク実践に取り組んでいる。本分科会では子どもの権利擁護に取り組むソーシャルワーク実践から現状に関する課題や対策について学び、**子どもの権利を守るために私たちソーシャルワーカーに何ができるか**を考える機会とする。

② キーワード

子ども家庭福祉、子どもの権利、子どもの貧困、児童虐待、社会的養護、スクールソーシャルワーク、子育て家庭支援、発達障害、不登校、引きこもり

第2分科会 「地域支援」

～地域共生社会の実現に向けた社会福祉士の役割について～

① 主旨・目的

少子高齢者化社会においては、高齢に限らず、障がい、子ども、生活困窮者、多世代、在日外国人など支援を必要とする人々は多岐に渡る。私たちは新たな社会モデルを構築することが求められている。地域住民による主体性を持った取組み、認知症や疾病・障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける社会づくり、高齢や障害などの制度の枠組みを越えたネットワーク構築や資源開発の取組み等の地域包括ケアシステムの深化が重要となる。本分科会では、各地域の「地域包括ケアシステムの構築」、「地域づくり」の取組みを中心とした実践報告をとおして、**地域共生社会の実現に向けて社会福祉士が果たすべき役割**について考える機会とする。

② キーワード

地域づくり、地域ケア会議、医療・介護連携、生活支援体制整備、生活支援コーディネーター、社会資源開発、認知症初期集中支援チーム、地域連携ネットワーク、成年後見中核機関、生活困窮者自立支援

第3分科会 「福祉経営」

～独立型社会福祉士の福祉実践と福祉経営について～

① 主旨・目的

「独立型社会福祉士」とは「地域を基盤とした独立した立場でソーシャルワークを実践する者」として定義されている。四国圏域においても、社会福祉士が独立した立場で、成年後見活動・障がい者支援事業・介護事業・子ども福祉・スクールソーシャルワーク・福祉相談事業等多面的に実践活動を展開している。本分科会では独立型社会福祉士のソーシャルワーク実践に加えて起業戦略としての福祉経営の視点からも独立型社会福祉士の在り方を考える。そして四国圏域における独立型社会福祉士の活動を広げるために**独立型社会福祉士の果たすべき役割や今後の可能性**を一緒に考える機会とする。

② キーワード

独立型社会福祉士、独立開業、成年後見活動、福祉事業の経営、起業戦略、地域連携、農福連携、コミュニティビジネス、ソーシャルワーク実践



一般社団法人 徳島県社会福祉士会行き
FAX (088) 678-8042

第10回四国大会/ソーシャルワークフォーラム 参加申込書

申込日 2019年 月 日

ふりがな 氏名	都道府県	会員・非会員・学生
所属(学校名)	職種	
連絡先住所	電話番号	
	メールアドレス	

★11月9日 ワークショップ(9:30~12:30) ※ワークショップのみの参加可
 希望するワークショップに一つだけ○をつけて下さい。

WS1	児童虐待への支援を考える(Part2) ~チーム学校・SSWの役割~
WS2	支援力を高めるアドラー心理学の学び方 ~勇気と技術のある支援者を目指して~
WS3	福祉実践に向けた行動分析学の基礎
WS4	レジデンシャル・ソーシャルワークを学ぼう
WS5	自己覚知からはじまるコミュニケーションスキル
WS6	明日から使える若手のソリューション ※35歳以下の若手、学生限定

★11月9日 ランチセッション(12:45~13:45) ※別途お弁当代600円(事前振込)

1、参加する
2、参加しない

★11月9日 基調講演/公開講座(14:00~15:30) ※公開講座のみの参加可

参加費：無料

1、参加する
2、参加しない

★11月10日 分科会(9:00~12:00)

希望する分科会に一つだけ○をつけて下さい。

第1分科会	「権利擁護」-子どもの権利擁護におけるソーシャルワーカーの必要性について-
第2分科会	「地域支援」-地域共生社会の実現に向けた社会福祉士の役割について-
第3分科会	「福祉経営」-独立型社会福祉士の福祉実践と福祉経営-

★11月9日 交流会(18:00~20:00)

1、参加する
2、参加しない

★参加費用

氏名	ワークショップのみ (¥2,000)	講演のみ (¥0)	会員 (¥3,000)	一般 (¥5,000)	学生 (¥500)	ランチSS (¥600)	交流会 (¥5,000)	合計
アヲ 知ウ (例) 阿波 太郎			○ ¥3,000			○ ¥600	○ ¥5,000	¥8,600

★お支払い方法

支払方法は銀行振込にてお願い致します。

振込先：徳島銀行 本店営業部(普) 8613606
 口座名義：一般社団法人徳島県社会福祉士会 代表理事 和泉芳枝

- ①振込手数料はご負担願います。
- ②振り込まれる方のお名前は必ずご記入ください。
- ③参加申し込み後、1週間以内にご入金願います。
- ④原則、一度振り込まれた大会参加費・交流会費・ワークショップ受講料は、返金できかねますのでご了承ください。

2019年10月31日(木)必着

※メールにてFAX受信のお返事をします。

お問合せ

ソーシャルワークフォーラムとくしま実行委員会事務局(徳島県社会福祉士会内)
 〒770-0943徳島市中昭和町1丁目2徳島県立総合福祉センター3F
 TEL: 088-678-8041 FAX: 088-678-8042 e-mail: swft2019@tacsw.jp